



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

「百聞不如一見」そして「百見不如一考」、 「百考不如一行」へ ～修学旅行報告～

二学年主任 石谷 洋一

エンジンの出力が上がり、三百五名の生徒を乗せた航空機が離陸した瞬間、彼らが座る後部座席から自然に拍手が湧き起こった。いよいよ二泊三日の修学旅行のスタートである。前日まで心配していた台風十一号の進路による日程への影響のことを忘れ、生徒たちの想い出に残る三日間の始まりを実感できた嬉しい瞬間でもあった。

羽田空港到着後は予期せぬ事故渋滞のため、つくば到着が三十分以上遅れるトラブルに見舞われた。昼食時間の短縮やJICAでのプログラム変更など、少し窮屈な日程になったが、それぞれのクラスが、サイエンスツアーで世界における日本の役割や最先端の科学技術について学ぶ機会を得た。この体験が、これまでの自分の世界観を超える新しい可能性の灯となつて、ひとりでも多くの生徒の心の中で燃え続けることを期待したい。

東京都内の夜景が見渡せる高層階にあるレストランでの夕食では、その味と景色を堪能しただけでなく、友との笑顔の語り、一日を振り返り、翌日の鋭気を養うことが出来たようであった。

二日目、鶴丸の修学旅行の柱ともいえる「GO鶴セミナー」当日である。早めの朝食をとり七時前に出発した班や、訪問先までの経路を再度確認してから出発した班など、どの班からも緊張している様子が見えた。出発後の様子も気にかけてはあったが、訪問後にディズニールゾートに到着した生徒たちの満足げな表情から貴重な時間を過ごせたことが見て取れた。進路について漠然としたイメージしか持っていない生徒たちにとって、社会の第一線で活躍されている先輩の姿は目撃しやがたであり、これからの進路選択にきつと生かされることと信じている。今回の企画・運営に尽力くださった東京鶴丸会の皆様、そして、訪問を受けて入れてくださった先輩諸氏に改めて御礼を申し上げます。



最終日、あいにくの雨となった。東京大学訪問では、悪天候のため十分な校内散策ができなかったが、先輩からの講話や動物医療センター内の施設見学などを体験し、より専門的にかつ最先端である学問の研究、修得がなされている大学の雰囲気を感じ、受験に対する自らの姿勢を考へる機会となったようである。

最後の思い出を忘れてはならない。校舎である「For others」の精神は卒業後も生き続けているのである。上野周辺での自主研修を終えて、百人一首の全国大会に向かう生徒たちは新幹線で京都へ、そして残りの生徒は鹿児島へと帰着し、想い出に残る修学旅行を終えることができた。三日間を通して、大きく体調を崩す生徒もなく、すべての行程が無事に行われたことに安堵している。一方で、台風の心配が重なったこともあり、出発前から旅行最終日まで、いろいろと御配慮いただいた旅行業者の皆様をはじめ、方々のことも忘れてはならない。

今回の修学旅行は、大学進学のために自分の未来を考へる貴重な機会となったはずである。日常生活はもちろん、日々の学習活動や進路選択においても成長した姿が見られることを確信している。末筆ながら修学旅行の実施にあたり、御尽力くださった全ての方々に心より御礼申し上げます。

自分磨きの旅

理科(物理) 東 健一

三浦しをんの著書『舟を編む』は二〇一二年の本屋大賞を受賞したことで当時話題となり、手にとって読んだ本校生も多いのではないだろうか。この作品では辞書の編集という普段ほとんど話題にならない職業にスポットライトが当てられており、これまでに意識したことのない職業について詳細に記述されており、私自身、大変興味深く読んだ作品である。登場人物の大半は辞書の編集という仕事を目的に出社へ入社したわけではなく、始めからそれを目的に辞書編集の仕事に就いた登場人物は一人しかいなかった。しかし、編集に関わる中で関心を持った人達が仕事の面白さに引きつけられていくといったストーリーである。読み終わった後、辞書編集という職業が大変魅力的なものだと感じた。

この本をふと思いついたのは、この原稿を書く直前までちょうどクラスの三者面談があり、将来についてクラスの生徒達に聞く機会があったからである。毎年の面談の中で生徒から返ってくる答えは大別して三つ。一つ目は将来の職業は明確に決まっておらず、それに向けて準備を着実に進めている者、二つ目はなりたい職業はあるが特にそれに向けてまだ本気で取り組んでいないという者、そして最後は全く決まっていないという者である。皆さんの答えはどうだろうか。



本校に赴任して八年が経とうとしているが、一つ目に挙げた将来の夢を持ち、それに向けて三年間たゆまぬ努力を続けたと担任として断言できる生徒というのは思い出しただけで数名程度である。中には、入学時より明確な目標を掲げ、それに向けて土日、休日も含め一日も休まず登校して学習に励み、夢の実現に向けて大学へ進学していった生徒もいた。それは確かにすごいことであり、賞賛に値することだと思ふ。しかし、三つ目の自分の目標が見つからずに迷い続けたまま高校を卒業していく生徒も少なからずいるのも現実である。考へてみれば十代後半に明確なビジョンを持つていく方が稀であり、目標が見えないまま自分が何をなすべきなのか悩んだり迷ったりするのは決して悪いことではないのではないかと思ふ。実際、大学に進んでから本当にやりたいことが見つかったという卒業生の声もよく聞くのである。

皆さんが現時点で本当に理解できている職業などごくわずかなのであり、世の中にはまだ知らない魅力ある職業が数多くあるのである。今、無理して何になろうと考へるよりもまずは自分を磨くことが大切ではないだろうか。自分を磨けば磨くほど、これまで表には見えていなかった自分の良さがだんだんと滲み出てくるはずである。最初に述べた本の中に登場してくる主人公は自分の才能に気付いていないのだが、その才能を別の編集者によって見いだされ開花させ、まさに辞書編集が天職となっていくのである。実は皆さん自身の良さは自分よりも周りの人間の方が気付いているのかも知れない。道が見えなくなったらとにかく自分を磨くことに専念してみよう。周囲の助言も参考にしながら、自分について客観的に見ることができるようになれば自分の進むべき道も自然と決まってくるのではないだろうか。そのように考へてみると先が見えない不安もあるが、一方でどんな可能性を秘めているのかワクワクするのはないだろうか。是非、これから自分磨きの旅を楽しんでもらいたい。

魂ゆさぶる音楽(ついにあり)

八月十二日、宝山ホールにて、第三十八回定期演奏会が開催された。会場には在校生だけでなく、多くの保護者や卒業生、一般の方々もご来場くださり大盛況となった。ステージに立った現役吹奏楽部員、音楽部員のほか多数の両部OB・OGが、趣向凝らした素晴らしい歌や演奏で会場を埋め尽くした聴衆を魅了した。フィナーレは、全出演者による恒例の合同演奏「ハレルヤ」。今年も大盛況のうちに幕を閉じた。



吹奏楽部員、音楽部員のほか多数の両部OB・OGが、趣向凝らした素晴らしい歌や演奏で会場を埋め尽くした聴衆を魅了した。フィナーレは、全出演者による恒例の合同演奏「ハレルヤ」。今年も大盛況のうちに幕を閉じた。

嗚呼 鶴丸の意気高し

全国大会上位入賞!

前号で報告したように、この夏、多くの体育系・文化系の部活動が全国大会への出場を果たした。その中から上位入賞に輝いた生徒の結果を報告する。

平成二十七年全国高等学校総合体育大会
男子三段跳び
七位 田坂 裕輝 (三一R)

第三十九回全国高等学校総合文化祭

文芸部門 俳句吟行の部
最優秀賞 浅井 香穂 (三六R)

作品 水琴に 浮かぶ足跡 蓮の夢

「全国大会の吟行中、延暦寺の水琴窟で一句。最優秀賞に選ばれて光栄です。」
(以上、浅井さんのコメント)

9・10月の行事予定 (10月は20日まで)

9 月	
11 金	3年実力考査(1日目)
12 土	3年実力考査(2日目) 1年GO鶴セミナー 2年GO鶴セミナー発表会
14 月	全校朝会
15 火	40分7限授業
16 水	保健講話「デートDV」
19 土	悠学講座③
21 日	敬老の日
22 月	国民の休日
23 火	秋分の日
25 金	前期終業式 大掃除 1・2年学力検討会 通知表発送
28 月	
29 火	
30 水	

10 月

1 木	
2 金	後期始業式 中掃除 大学入試センター試験出願
5 月	学年朝会 文化祭準備期間(45分授業 木まで)
6 火	体育系部活動生健康診断
7 水	体育系部活動生健康診断
8 木	文化祭リハーサル
9 金	文化祭準備 中掃除(30分) (1・2年全かつ、3年月曜の授業) 実力考査時間割発表 学校安全の日
10 土	文化祭
11 日	第2回英検 一次試験
12 月	体育の日
13 火	文化祭代休
15 木	火曜の授業
16 金	避難訓練
17 土	3年進研記述
18 日	3年進研記述
19 月	実力考査 (1日目) 1, 2年学年PTA
20 火	実力考査 (2日目)

男子三段跳び

七位 田坂 裕輝 (三一R)

第三十九回全国高等学校総合文化祭

文芸部門 俳句吟行の部
最優秀賞 浅井 香穂 (三六R)

作品 水琴に 浮かぶ足跡 蓮の夢

「全国大会の吟行中、延暦寺の水琴窟で一句。最優秀賞に選ばれて光栄です。」
(以上、浅井さんのコメント)